

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成27年7月28日(火) 19:00~21:00

会議名	平成27年度越谷市自治基本条例推進会議 第3回会議	場所	越谷市役所本庁舎5階 第1委員会室
件名 議題	1 開会 2 協議事項 (1)自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について (2)報告書のまとめ方について 3 その他 4 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 佐々木会長、石崎副会長、駒崎委員、齋藤委員、白岩委員、鈴木委員、淵野委員、松原委員、村田委員、三澤委員、横家委員(11名) 欠席委員 黒田委員、原田委員、大野委員、雨宮委員 事務局 佐々木企画部副参事(兼)企画課長、根本企画課主事、丸岡同主事(3名) 傍聴者 なし		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等			
・自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について、ワークショップ等の手法を取り入れ協議した。会議での協議を踏まえ、出された意見等を報告書案に盛り込んでいくこととした。			
・会議での意見を踏まえ、「協働の仕組みづくり・環境整備について」【資料1】の項目で報告書案をまとめていくこととした。			
・平成27年度第4回会議を11月13日(金)午後7時00分から開催することとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

こんばんは。

本日も暑い中ご出席いただきありがとうございます。のちほど事務局から資料等の説明がありますが、本日は、前回の協議の続きにあたる部分と、報告書のまとめ方についてご協議いただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

事務局あいさつ（佐々木企画部副参事）

こんばんは。本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

市では、市の最上位の計画となる第4次越谷市総合振興計画後期基本計画を策定中です。まさしく自治基本条例の趣旨にのっとり、地区の方々をはじめ市民の皆さまのご意見をいただきながら策定を進めてまいりました。現在、素案としてまとめたものについて、議員の皆さんと意見交換を行っています。議会の審議の中で、素案の内容や策定過程に関して、自治基本条例の趣旨を踏まえるかどうか、といった意見もいただいています。自治基本条例の趣旨をしっかりと踏まえていこうという考えが、議会活動の根底にも流れていると感じます。本日の協議事項である自治基本条例の普及については、市にとっても命題だと考えていますので、ぜひご意見をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

2 協議事項

（1）自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について

- ・事務局が、自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について、【資料2】（平成26年度子ども版パンフレットの活用状況について）に基づいて説明した。

（会長）ありがとうございました。事務局から、普及の取り組みとして、自治基本条例の子ども版パンフレットの活用状況について説明がありました。子ども版パンフレットは、大人が読んで分かりやすいものになっていると思います。また、今年の協働フェスタでも展示された、自治基本条例施行5周年記念のPRパネルも、自治基本条例を身近に感じられるものとなっていたと思います。事務局の説明についてご意見等がないようであれば、ワークショップをはじめたいと思います。

- ・2つのグループに分かれてワークショップを実施した。

（会長）それでは、時間となりましたので、それぞれのグループごとに内容の発表をお願いします。

- ・2つのグループが順番にワークショップの結果を発表した。（【別紙1】及び【別紙2】のとおり）

（会長）2グループの発表を受けて、補足やご意見があればお願いします。

（A委員）選挙権が18歳に引き下がったので、このチャンスをとらえて何か取り組むことができるのではないかと思います。また、市が出張講座を行っていることがあまり知られていないように感じます。出張講座を行っていることのPRを行ったり、人の集まるイベントとあわせて出張講座を行うと良いと思います。

(会 長) 自治の日などを設定して、年に1回、自治に関わるイベント等を開催するののも一つの手段だと思います。

ありがとうございました。ワークショップ等が出された意見を報告書案に盛り込んでいくこととしてよろしいでしょうか。

・出席委員全員に確認し、了承された。

●合意・決定事項等

・「自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について」出された意見等を報告書案に盛り込んでいくこととした。

(2) 報告書のまとめ方について

・事務局が、報告書のまとめ方について、【資料1】(協働の仕組みづくり・環境整備について(報告書)【骨子イメージ】)に基づいて説明した。

(会 長) ありがとうございました。これまでに出了された意見が、【資料1】のように整理されています。【資料1】の項目に沿って報告書案を作成することについて、ご意見があればお願いします。

(B委員) 【資料1】の2、(2) 市民活動団体を対象とした実態調査についての項目で、調査を行うだけではなく、調査結果をどのように活用するかというところまで記述していただきたいです。調査結果を、市民活動団体についてのガイドブックとしてまとめると有効なのではないかと思ひます。他市のガイドブック等を参考にすると良いと思ひます。

(C委員) (3) まちづくりに資する団体への必要な支援方策の中で、有償ボランティア制度についての項目が設定されています。先日行われた、社会福祉協議会での各種団体の集まりの中でも、有償ボランティアについての話が出ました。有償ボランティアと、地域内で見守り等を行う地域包括ケアシステムをどのように連携していけるか考えていきたいです。

(D委員) 【資料1】2の(1)に、協働事業の提案受け入れ窓口等の設定について記述があります。事業の提案先となる担当課への取り次ぎだけではなく、担当課との調整等、事業の実現に向けた支援も行える窓口となると良いと思ひます。受け入れ窓口が庁内各課の情報収集をしたり、また、市民の意見を取り入れて協働で事業を実施しようという、庁内の機運を高めることも必要だと思ひます。

(会 長) 協働事業の提案受け入れ窓口が調整機能を持つということは大切だと思ひます。

(E委員) 報告書の骨組みは良いと思ひます。総合的な報告書となるよう、記述を工夫する必要があります。

(F委員) 報告書で提案する事項に、短期で取り組めるもの、長期で取り組むものといった点を盛り込むと、より実効性が高まると思ひます。

(G委員) (1) 組織間の連携を推進するための方策で、組織間連携のコーディネーターの養成の項目で、地区センターが組織間のコーディネートをやる拠点となることについての記述があります。各地区だけではなく、総合的なコーディネーターも必要ではないかと思ひます。

(会 長) ありがとうございました。本日出された意見を踏まえ、「協働の仕組みづくり・環境整備について」【資料1】の項目で報告書案をまとめていくこととしてよろしいでしょうか。

・出席委員全員に確認し、了承された。

●合意・決定事項等

- ・「協働の仕組みづくり・環境整備について」【資料1】の項目で報告書案をまとめていくこととした。

3 その他

- ・事務局が、次回の日程等について説明した。

※平成27年度第4回会議を11月13日（金）の午後7時00分から開催することとした。

※平成27年度第4回会議の協議事項である報告書（案）について、8月11日（火）までにメンバーリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

4 閉会（副会長）

本日は普及の方策と報告書のまとめ方の2つの事項について、ご協議いただきました。普及については第1期、第2期の推進会議の答申でも触れていましたが、今回の会議でも非常に貴重なご意見をお出しいただきました。報告書のまとめ方についても、次回に繋がるご意見をいただけたと思います。ありがとうございました。